

ヨコハマトリエナーレ2017 応援プログラムを開催します！

主催:横浜市中央図書館 協力:横浜美術館



応援プログラム

企画展示 カタログで楽しむ美術展

展覧会で作成される、作品の図版や解説をおさめた「カタログ」は、一般の書店には流通しないものが多いですが、横浜市中央図書館では、主に寄贈により、約 1400 点の展覧会カタログを所蔵しています。この度、ヨコハマトリエナーレ 2017 開催を契機に、美術に関するカタログの展示を行うことといたしました。

カタログの所蔵範囲は、1943 年ごろから現在までと多岐に渡りますが、蔵書の中には、同じ画家を取り上げたものが複数あります（例えば、パブロ・ピカソを主題とするカタログは 11 点）。同じ画家であっても、美術展によって切り口は様々であり、そこには、美術館の個性、企画者である学芸員の手腕が光ります。

本展示では、美術展ごとの違いに注目し、同じ画家を扱ったカタログを複数並べることで、彼らの新たな魅力を発見していただくとともに、美術展の楽しさをお伝えします。

【開催期間】平成 29 年 9 月 20 日（水）～10 月 9 日（月・祝）

* 展示期間中、休館日はありません。

* 会期中、展示内容の入れ替えを行います。

【会 場】中央図書館 5 階 エレベーター前

【展示内容】

* 会期前半 9 月 20 日（水）～9 月 29 日（金）

日本人画家

横山大観（5 点）、下村観山（3 点）、

東山魁夷（7 点）など

* 会期後半 9 月 30 日（土）～10 月 9 日（月・祝）

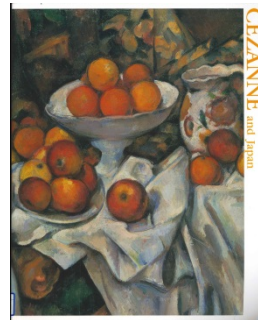
外国人画家

パブロ・ピカソ（11 点）、サルバドール・ダリ（3 点）、

ポール・セザンヌ（3 点）など

* 横浜美術館美術展カタログ 84 点

* 横浜美術館美術情報センターの紹介



セザンヌのカタログ 3 点

左上:「セザンヌ展」

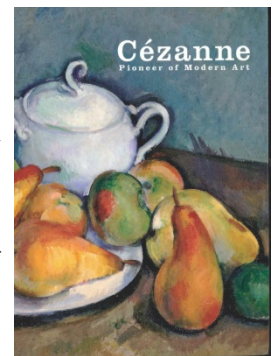
横浜美術館 1999 年

右上:「セザンヌ主義 父と呼ばれる画家への礼賛」

横浜美術館 2008 年

右下:「セザンヌ 近代画家の父になるまで」

ポーラ美術館 2015 年



ヨコハマライブラリースクール 学芸員の仕事とは? —横浜美術館の場合

【日 時】平成 29 年 10 月 7 日（土） 午後 2 時～4 時

【会 場】中央図書館 5 階 第一会議室

【講 師】八柳サエ氏

（横浜美術館 学芸グループ美術情報センター担当グループ長 主任司書／主任学芸員）

【定 員】40 名（申込先着順）



取材をご希望の場合は、事前にお問い合わせください。

イベントの詳細は、チラシをご覧ください。

お問合せ先

教育委員会事務局中央図書館調査資料課長 池谷 充隆 Tel 045-262-7343

企画展示 カタログで楽しむ美術展

展覧会では、展示作品の図版や解説をおさめた「カタログ」が作成されます。一般の書店には流通しないものが多く、展覧会会場などでの購入に限られがちなカタログですが、横浜中央図書館では、約1400点の展覧会カタログを所蔵しています。

この度、ヨコハマトリエンナーレ2017開催を契機に、美術に関するカタログの展示を行うことといたしました。

例えば、パブロ・ピカソを主題とする美術展で、中央図書館が所蔵するカタログは11点。それぞれを見比べると、陶芸作品をメインとした企画、子どもをモチーフにした作品に焦点を当てた企画など、同じピカソでも全く異なる切り口の美術展が開催されています。

本展示では、同じ画家を扱ったカタログを複数並べることで、彼らの新たな魅力を発見していただくとともに、美術展の楽しさをお伝えします。

開催期間：平成29年9月20日（水）～10月9日（月・祝）

*展示期間中、休館日はありません。 *会期中、展示内容の入れ替えを行います。

会場：中央図書館5階 エレベーター前

ヨコハマライブラリースクール

学芸員の仕事とは？

— 横浜美術館の場合 —

全国各地の美術館では、様々な展覧会が実施されています。その裏側で、「学芸員」という専門職がどのような仕事をしているか、ご存じですか。

本講座では、横浜美術館において、1989年の開館前から学芸員に従事されてきた八柳氏を講師にお迎えし、「調査・研究」「収集」「保存」「展示・公開」、さらには「クーリエ」という他館への美術品貸出時の美術品随行や、企画展の準備と実施など、多岐にわたる美術館学芸員の仕事についてお話しいたします。

あわせて、横浜美術館内にあり、国内屈指の規模を誇る無料一般公開の美術専門図書室「美術情報センター」をご紹介します。

日時：平成29年10月7日（土）午後2時～4時

講師：八柳サエ氏

（横浜美術館 学芸グループ美術情報センター担当グループ長
主任司書／主任学芸員）

参加申込方法等、詳細は裏面へ！

参加無料



「学芸員の仕事とは? -横浜美術館の場合」

日時：平成 29 年 10 月 7 日（土）午後 2 時～4 時（開場：午後 1 時 30 分）

会場：中央図書館 5 階 第一会議室 *職員通用口から入場

定員：40 人（申込先着順）

参加申込方法

平成 29 年 9 月 12 日（火）午前 9 時 30 分から受付開始

- 1 電話（045-262-7336）
- 2 Eメール（ky-libevent@city.yokohama.jp）
- 3 中央図書館 3 階カウンター

申込時に「講座名、氏名、電話番号」をお知らせください。

手話通訳等をご希望の方は、9 月 29 日（金）午後 5 時までにお申し出ください。

*申込時にご記入いただいた個人情報は、「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い適正に管理し、申込受付及び講座の中止等、連絡の必要が生じた場合のみ利用します。

講師紹介

やつやなぎ

八柳 サエ氏

（横浜美術館 学芸グループ美術情報センター担当グループ長
主任司書／主任学芸員）



東京生まれ、横浜育ち。神奈川県立横浜翠嵐高校卒。多摩美術大学美術学部芸術学科卒。早稲田大学大学院文学研究科研究生在籍中に横浜美術館学芸員の職を得る。「鏑木清方展」「紫紅と靱彦展」など主に近代日本画展を担当。近年は「松井冬子展—世界中の子と友達になれる」（2011-12 年）、「横山大観展—良き師、良き友」（2013 年）を企画・実施。単著『鏑木清方と金沢八景』（2000 年）。現在、学芸員と横浜美術館美術情報センター司書を兼務。

ヨコハマライブラリースクールとは

ヨコハマライブラリースクールは、人と出会い、本と出会い、知識を深める「学びの場」です。毎回、様々な分野の最先端で活躍する講師が、質の高い研究成果や知識をやさしい言葉で解説します。あわせて、当館所蔵資料からテーマにあった本を司書をご紹介します。

横浜中央図書館へのアクセス

所在地 西区老松町 1
 交通機関 JR・市営地下鉄桜木町駅から徒歩 10 分
 京急線日ノ出町駅から徒歩 5 分
 開館時間 火曜日～金曜日 午前 9 時 30 分～午後 8 時 30 分
 土・日・月・祝休日 午前 9 時 30 分～午後 5 時



ヨコハマトリエナーレ 2017 「島と星座とガラパゴス」

会期：平成 29 年 8 月 4 日（金）から 11 月 5 日（日）まで ※第 2・4 木曜日休場

会場：横浜美術館、横浜赤レンガ倉庫 1 号館、横浜市開港記念会館地下ほか

主催：横浜市、（公財）横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

ディレクターズ：逢坂恵理子、三木あき子、柏木智雄